

2016 年 AP 学生研究プロジェクトの採択

学生研究プロジェクトの審査が行われ、研究計画書とプレゼンテーションから次の3件が採択されました。「観光資源に対する地元住民と観光客との評価の差異ー山形県を事例としてー」(代表者) 飯山和也 「埼玉県に生息するヤリタナゴの地域固有性は保たれているのか？」(代表者) 一宮大輝 「人が植物の分布拡大に与える影響」(代表者) 長谷川樹生 これからフィールド調査など研究を始めて、2月には成果報告が行われます。